

周南公立大学
『LIFE IS SPORTS@しばふ』
プロジェクト報告

《コンセプト》

SPORTS × LIFE STYLE × WELL BEING

スポーツを起点に、しゅうなんのまちを元気にする！
『新しいスポーツの価値と文化』をデザインする。



本プロジェクトにおける 『SPORTS』の定義とは…

LIFE STYLE × WELL BEING

日常生活のなかにある、すべての事柄を「SPORTS」と捉え、表現する。



事業主旨『学生が創る成長型スポーツ企画』

ターゲット：周南市のすべての方々

《MISSION》

- ① 地域の公園や芝生広場など、公共のオープンスペースを利活用し、スポーツの枠組みと概念を取っ払う。
- ② 多世代の市民が自由に集い、ともにスポーツに親しみ、楽しむことのできる多彩な企画を展開。
- ③ 周南のまちに、スポーツを起点とした新たな文化とコミュニティを創る。

《解決を目指す_地域の課題》

① 様々な立場、背景、特性を有した人、組織があつまり、つながりを感じてスポーツを行う場所&機会がない。

② 市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる場所&機会がない。

➡ スポーツの力で健康で活力あるまちづくり、絆の強いまちづくりを目指す上で、多様なスポーツの在り方が文化としてまちに根付いていない。

③ 地域のスポーツ振興事業が「点」である。

➡ 地域で開催されているスポーツイベントへの参加者が限定的である。
また、その後のスポーツ継続につながっていない。

《目指すゴール》

- ① 日常生活のすべてを「スポーツ」として捉え、新たな価値観と文化を提案する。
- ② スポーツ参画への間口を広げ、敷居を低くする。
- ③ スポーツをより身近に、誰でも楽しめる時間と空間を地域に創出する。
- ④ スポーツを通じた地域課題の解決、および地域と共創する未来を実現する。
- ⑤ 上記を実現する産学官の連携体制を構築する。

中長期的な視点

ミライへ



多様性に富むスポーツコミュニティの創出
周南のまちの新しいスポーツ文化の醸成
大学と地域の共創

本プロジェクトを上記につなげたい

プロジェクト体制

「地域のニーズ」&「有志学生の得意、やってみたい!」に応じて、11のチームで地域での企画を立案・運営。
学生リーダーとサポート教員によってプロジェクト全体および産学官の連携を進めている。

プロジェクト学生_チーム

ニュースポーツ開発_チーム
ユニバーサルスポーツ_チーム
バレーボール_チーム
ハンドボール_チーム
スケートボード_チーム
モルック_チーム
フェンシング_チーム
PLAYエリア_チーム
アウトドア×スポーツ_チーム
EQ教育×スポーツ_チーム
音楽×スポーツ_チーム

学長・理事長

執行部

学生リーダー
プロジェクト長
スポーツアドミニストレーター
スポーツ教員_プロジェクトチーム

経理

カルチャア・コンビ
ニエンス・クラブ

産学官連携会議
ステークホルダー

スポーツ振興会議
(2023年8月に発足)

地域共創センター
アスリートサポートセンター
学務担当
学生支援担当
課外活動担当
スポーツ健康科学科設置準備室

学内の各部署で
情報を共有

活動計画（@実施計画書）

- ① @地域_スポーツ企画の立案および運営（計4回：6日間）
例年実施している運動部学生によるスポーツ教室企画に加え、多世代が楽しむことのできる多彩なスポーツ企画を実施する。
- ② LIFE IS SPORTS@しばふキャラバン（9, 11月）
上記イベントでの体験と出会いを、その後のスポーツ継続につなげられるよう、まちの中にスポーツコミュニティを創る。
- ③ しばふゼミの開催（7, 8, 9, 10, 11月）
学生×市民によるワークショップを開催、地域のニーズと市民の方々のご意見を上記①&②の企画へつなげる。

活動計画（@実際）

- ① @地域_スポーツ企画の立案および運営（計7回：9日間）
公共のオープンスペースを利活用し、不特定多数（参加する方が限定されず、多世代が自由に集い、楽しむことのできる多彩なスポーツ企画を実施した。
- ② LIFE IS SPORTS@しばふキャラバン（11, 12月）
上記イベントでの体験と出会いを、その後のスポーツ継続につなげられるよう、地域に開かれた学生の活動チームをつくるとともに、依頼のあった周南地域（主に周南市の中山間地域）へ企画をお届けした。
- ③ しばふゼミの開催（上記①の企画時_9月, 10月）
学生×市民との交流を促進し、地域のニーズに関する意見交換を行うスペースを設置。上記①&②の企画へつなげ、地域の方々の要望に答えられることを目指した（学内および産学官連携チームとの企画ミーティングについては、企画実施のスケジュールにより、日常的に随時行うこととなった）

活動報告

① @地域_スポーツ企画の立案および運営

『8/26_ LIFE IS SPORTS @レノファ周南市ホームタウンデー_15:00-19:00』

【会場】 維新みらいふスタジアム（山口市維新公園4丁目1-1）

【連携】 レノファ山口、ボートレース徳山、柳井フェンシング協会

【広報・運営】 カルチュア・コンビニエンス・クラブ

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ（有志学生計30名）】

- ・くつ飛ばしダーツ
- ・Let's プレイモルック！
- ・侍セイバー_スマートフェンシング&サッセン

【対象】 会場来場者_老若男女すべての方々

【イベント_来場者数】 4960名



【当日の様子】 産学官連携会議にて選出された3つの学生企画を実施。常時行列状態で、小さなお子さまからご高齢の方まで、大勢の幅広い市民の方々にニュースポーツを体験いただき、スポーツの楽しさに触れていただけるとなった。しかしながら、学生たちはまだ企画に不慣れなこともあり、市民の方々への積極的な声かけや交流、本プロジェクトおよび次回のイベント・企画等に関する情報発信の脆弱さが課題として挙げられた。

『9/30_LIFE IS SPORTS @レノファ_キッズパーク_10:00-15:00』

【会場】ボートレース徳山_芝生広場（周南市栗屋1033）

【連携】レノファ山口、ボートレース徳山

【広報・運営】カルチュア・コンビニエンス・クラブ

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ（有志学生計15名）】

- ・しばふゼミ
- ・くつ飛ばしダーツ
- ・Let's プレイモルック！
- ・PLAYエリア
（フリスビー3種、ジャズミントン、フレスコボール、子供用ボール&ゴール、ゲートボール）

【対象】会場来場者_老若男女すべての方々

【イベント_来場者数】約550名

【当日の様子】子どもも大人も自由にたのしく遊べる空間の創出を目指し、4つの企画を実施。未就学の小さなお子さまを連れたファミリー層が多く、子どもたちが自由に走り回って、大学生のお兄さん、お姉さんと遊べるPLAYエリアは特に盛況で、常時100人以上の子どもたちが芝生広場で遊んでいた。お天気にも恵まれ、大成功のイベントとなった。



『10/9_LIFE IS SPORTS @しゅうなんスポーツフェスタ_10:00-16:00』



【会場】周南緑地公園（周南市大字徳山10405-1）

【連携】周南市体育協会、周南市文化・スポーツ課、スポーツ推進委員会

【広報・運営】周南市体育協会／学生企画（カルチャア・コンビニエンス・クラブ）

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ（有志学生計140名）】

- しばふゼミ
- No walls ハンドボール！鳥かご
- YOSAKOI ステージ
- しばふ de だれでもバレーボール！
- ともだち、みっけ！
- Let's スケボー体験
- くつ飛ばしダーツ
- 3 on 3／バスケットボールで遊ぼう！
- e-スポーツ交流会
- Let's プレイモルック！
- 侍セイバー！スマートフェンシング&サッセン
- PLAYエリア（フリスビー3種、ジャズミントン、フレスコボール、子供用ボール&ゴール、Spikeball 他）

【対象】会場来場者_老若男女すべての方々

【イベント_来場者数】約12000名

【当日の様子】学生プロジェクトチームとフェスタ関係団体による計7回の打ち合わせと企画検討会議に基づき、計12の学生企画を行った。どの企画も終日盛況で、イベント全体の来場者も目標の2000名を大きく上回ることができたが、各企画にまだまだ改善点や進化できる部分があった。また、「誰もが楽しめる」という部分において、フェスタ全体としての課題を学生自身が発見した。

『10/9_LIFE IS SPORTS @しゅうなんスポーツフェスタ_10:00-16:00』



『11/3, 4, 5_LIFE IS SPORTS @_Saber championship 2023_9:00-15:00』

【会場】 キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター（周南市大字徳山 10427）

【連携】 山口県フェンシング協会、柳井市フェンシング協会、柳井学園高等学校

【広報・運営】 山口県フェンシング協会、柳井市フェンシング協会

【周南公立大学×柳井学園高等学校_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ（有志学生15名）】

侍セイバー：

デジタル剣術体験イベント

- ・簡易型フェンシング「スマートフェンシング」
- ・次世代チャンバラ「サッセン」

【対象】 会場来場者_老若男女すべての方々

【イベント_来場者数】 161名



【当日の様子】 ミニム・カデ・ジュニア・シニアサーブルのフェンシング大会（個人戦）において、フェンシングのたのしさ、魅力を知ってもらうことを目的に、誰もが無料でフェンシングを体験できる企画を実施した。11/3-5_大会当日に至るまでの地域イベントで同企画を実施することで情報を発信し、子どもから大人まで幅広い年齢層の方々に「新たなスポーツ体験」を提供することができた。

『11/12_LIFE IS SPORTS @レノファウェルネスマーケット_10:00-15:00』

【会場】ボートレース徳山_芝生広場（周南市栗屋1033）

【連携】レノファ山口、ボートレース徳山

【広報・運営】カルチュア・コンビニエンス・クラブ

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ】
（有志学生計20名）

- ・しばふゼミ
- ・No walls ハンドボール！鳥かご
- ・Let's スケボー体験（スケートボード、ペニー、キックボード、ローラースケート、リップスティック）
- ・Let's プレイモルック！ ・ターゲットボッチャ
- ・PLAYエリア（フリスビー3種、ジャズミントン、フレスコボール、バランスストーン、Spikeball、バランスボード、平均台、ラダー、フラフープ、ゲートボール）

【対象】会場来場者_老若男女すべての方々

【イベント_来場者数】約400名

【当日の様子】曇天と急激な冷え込みによる寒気・低気温により、午前中は芝生広場で楽しむことが難しいコンディションとなった。午後からは少しお天気が回復し、来場者が増加するとともに、各企画コンテンツを楽しんでいたものの、来場者は前回と比較して少なく、改めて屋外スポーツコンテンツは季節・気候の影響を大きく受けることを実感する1日となった。



『12/24_LIFE IS SPORTS @PLAY FES_10:00-15:00』

【会場】周南緑地公園_芝生広場（周南市大字徳山 10427）

【連携】アウトドアスポーツやまぐち協同組合

【広報・運営】カルチュア・コンビニエンス・クラブ

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ】
（有志学生計9名）

- ・ Let's プレイモルック！
- ・ しばふ de ボッチャ！



【対象】会場来場者_老若男女すべての方々

【イベント_来場者数】約700名

【当日の様子】「はだして芝生で遊ぼう！」というコンセプトの下、モルックとボッチャ企画を行った。スケジュールの都合上参画できる学生や企画が少なく、2企画のみの実施となったが、初めての場所での企画経験は1/27につながる大きな機会となった。

『1/27_LIFE IS SPORTS @PLAY FES_10:00-15:00』

【会場】周南緑地公園_芝生広場（周南市大字徳山 10427）

【連携】アウトドアスポーツやまぐち協同組合

【広報・運営】カルチュア・コンビニエンス・クラブ

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ】
（有志学生計20名）

- YOSAKOI ステージ
- Let's プレイモルック！
- Let's スケボー体験（スケートボード、ペニー、キックボード、ローラースケート、リップスティック）
- しばふ de SAUNA！ • しばふゼミ
- PLAYエリア（フリスビー、ぐらぐらパニック！）

【対象】会場来場者_老若男女すべての方々

【イベント_来場者数】約2500名

【当日の様子】1/27_当日は会場である周南緑地公園で国内トップチームが争うバドミントンS/Jリーグ2023山口大会（山口・麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター）が開催されており、大変な賑わいとなった。バドミントンの会場までの導線に芝生広場があり、多くの方々に学生企画を楽しんでいただけた。大盛況で本事業を締めくくることができた。



『1/27_LIFE IS SPORTS @PLAY FES._10:00-15:00』



② キャラバン活動：依頼のあった企画をお届け

11/11_LIFE IS SPORTS キャラバン@中山間地域_10:10-11:00

【会場】 須々万中学校グラウンド（周南市須々万本郷362-5）

【連携】 周南市体育協会、須々万中学校

【広報・運営】 周南市体育協会

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ（有志学生7名）】

・モルック

（部活動の地域クラブ移行に向け、本プロジェクトチームへ「モルック」の企画依頼があった）

【対象者】 周南市内の小中学生と保護者、地域の方（事前申込数_18/29名）



11/12_LIFE IS SPORTS キャラバン@中山間地域_11:30-15:00

【会場】 勝間小学校グラウンド（周南市勝間ヶ丘1-1-1）

【連携】 かつまっ子育成部

【広報・運営】 勝間ふれあい祭り実行委員会

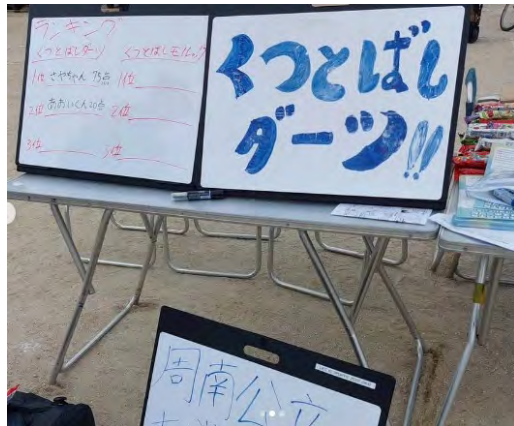
【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ（有志学生3名）】

- ・くつ飛ばしダーツ

（地域を盛り上げるため、本プロジェクトチームへ「くつ飛ばしダーツ」の企画依頼があった）

【対象者】 勝間地域の子どもたち

【イベント_来場者数】 約1300名



11/19_LIFE IS SPORTS キャラバン@中山間地域_10:10-11:00

【会場】 鹿野中学校グラウンド（周南市鹿野上3061）

【連携】 周南市体育協会、鹿野中学校

【広報・運営】 周南市体育協会

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ（有志学生2名）】

・モルック

（部活動の地域クラブ移行に向け、本プロジェクトのモルックチームへ企画依頼があった）

【対象者】 周南市内の小中学生と保護者、地域の方（事前申込数_2/27名）



11/25_LIFE IS SPORTS キャラバン@中山間地域_10:10-11:00

【会場】熊毛中学校グラウンド（周南市安田1827-1）

【連携】周南市体育協会、熊毛中学校

【広報・運営】周南市体育協会

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ（有志学生6名）】

・モルック

（部活動の地域クラブ移行に向け、本プロジェクトのモルックチームへ企画依頼があった）

【対象者】周南市内の小中学生と保護者、地域の方（事前申込数_2/18名）



12/22_LIFE IS SPORTS キャラバン@中山間地域_15:00-17:00

【会場】勝間市民センター（周南市大字呼坂1193-1）

【連携】かつまっ子育成部、勝間コミュニティ推進委員会

【広報・運営】かつまっ子育成部、勝間コミュニティ推進委員会

【周南公立大学_LIFE IS SPORTS_企画コンテンツ（有志学生11名）】

・ともだち、みっけ！

（10/9_しゅうなんスポーツフェスタで実施した「ともだちづくり」の企画依頼があった）

【対象者】勝間地域のすべての方々 【参加者】50名



③ しばふゼミ：学生×地域の方々_交流スペース_企画検討

LIFE IS SPORTS企画の実施の際に、
市民の方々と交流しながら、
イベント・企画のニーズや感想を伺いました。



その声を基に、様々なチーム、様々なメンバー、様々な場所でMTGと試行錯誤をくり返しました。



数々の産学官連携会議を通して、プロジェクトのステークホルダーの数は39まで成長！



産学官連携会議（リーダー学生3名も出席）
11/14_@周南緑地公園



学生の地域スポーツ企画プレゼンテーション大会（12/15, 12/22）にも足を運んでくださり、
2024年度のプロジェクトに向けても、着実に準備を進めています。

2024年：企画の立案、企画に向けての試行、準備、本番、改善をくりかえす日々に向けて！



チャレンジは続きます！

④ まとめ

④-1 学生の活躍！

YOSAKOI ステージチームの活躍（2年生_松村 颯大リーダー）

本プロジェクトにおいて、地域の「音楽×スポーツ」コンテンツのニーズをきっかけに誕生した学生チーム。10/9_しゅうなんスポーツフェスタでの初公演後、地域や学内からの依頼が多数あり、よさこいを通して地域活性化&地域交流を目指す。『総踊り』で、会場全員で踊り、たのしめるコンテンツが周南市に誕生した。YOSAKOIを通して、プロジェクト情報の発信&広報にも注力！

『11/12_@ぶち楽市民祭（ぶちたのしみんさい）』

【会場】 徳山駅周辺／徳山銀座商店街（イベント来場者数_約1200名）

【連携】 徳山商店連合協同組合、ぶち楽市民祭実行委員会

『11/26_@みままる（みまきのマルシェ）』

【会場】 周南市遠石緑地公園（イベント来場者数_約400名）

【連携】 みまき屋

『1/27_@PLAY FES.』

【会場】 周南緑地公園（イベント来場者数_約2500名）

【連携】 アウトドアスポーツやまぐち協同組合



くつ飛ばしダーツ チームの活躍（2年生_大寺 蒼空リーダー）

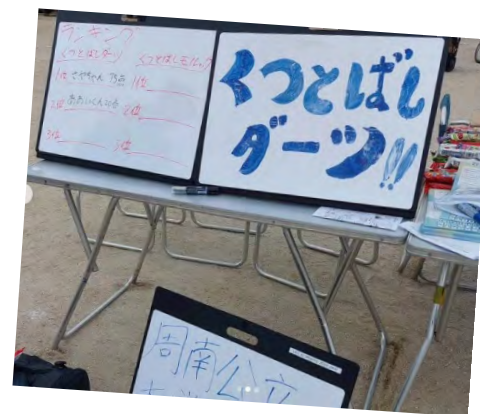
本プロジェクトにおいて、学生による「ニュースポーツ」コンテンツの開発を目指す学生チーム。
10/9_しゅうなんスポーツフェスタでの企画を通して、中山間の勝間・熊毛地域の子どもたちが一斉に集う「勝間ふれあい祭り」での企画依頼があり、約300人の子どもたちを中心に企画を楽しんでいただいた。試行錯誤の下、現在_Ver.2に進化。

『11/12_@勝間ふれあい祭り_11:30-15:00』

【会場】周南市勝間小学校グラウンド

【連携】勝間ふれあい祭り実行委員会
かつまっ子育成部

【イベント_来場者数】約1300名



勝間ふれあい祭り

11月12日 (日)

場所 周南市立勝間小学校グラウンド

オープニング11:30～
体育館にて
熊毛中学校吹奏楽部演奏会
バザー販売開始12:00～

令和5年の3大企画

Life is sports 周南公立大学企画
・くつ飛ばしダーツ
イベントで大人気の周南公立大学さんが勝間にやってきます！

・復活！野菜マーケット
令和版はより進化し
子どもたちによる商店が開店
内容は当日までのお楽しみ！

・未成年の主張
勝間小学校PTA魂の企画
当日、みんなが幸せになれる❤

来るときよりも楽しく ゴミの持ち帰り運動にご協力ください

主催 勝間ふれあい祭り実行委員会
問い合わせ 周南市勝間市民センター 0833-92-0043



モルック チームの活躍（1年生_林 侑玖リーダー）

本プロジェクトにおいて『地域の方々とのモルック活動』を目指す、山口県初のモルック学生チーム。
地域での企画を通して、モルックの楽しさと魅力を多くの方々に届けるとともに、地域の小学生のために公園を拠点に活動を展開している。地域からのニーズ&企画依頼がもっとも多いチームで周南市中で大活躍中！

『地域人気ナンバーワン！レッツプレイモルック！』

【活動場所】 あらゆる公園、芝生広場

【連携】 多数（企画依頼のあった地域・団体様）



スケートボード チームの活躍（2年生_櫻井 真大リーダー）

大好きなスケートボードの楽しさを広めたい！企画を行う上で、スケートボードを愛する地域の中学生・高校生、社会人、周南市のスケートボードショップと協力し、企画を立案・運営。本企画を通じて、「スケートボードをはじめました！」という報告が届き、周南で唯一スケートボードを体験できる企画として人気のコンテンツに成長した。誰でも参加できるスケートボードの活動を地域で展開中。

『現在_スケートボード禁止の周南緑地公園 ⇒ 今後 “可” の動きへ！』



バレーボール チームの活躍（1年生_野村 奈都さん）

本事業にてグラスバレーボール企画に参画した1年生たちが、地域の方々と活動することを目指し、バレーボールサークルを立ち上げた。バレーボールを気軽にできる場所を周南市につくる&地域貢献できることを目指して奮闘中。しかしながら、現実的には学内外の体育館の予約は込み合っており、「活動のスタート」に苦戦。小中学校との連携を主軸に、様々な可能性を模索しながら地域における多様なスポーツ活動を目指している。

『どうすれば “誰でも自由に楽しめるバレーボールができる場所！” を周南のまちにつくれるのだろう』



あくてい部 チームの活躍（1年生_中谷 歩美さん、内田 怜音さん）

スポーツによる地域振興を目指すサークルとして立ち上がった「あくてい部」。
本事業において数々の企画に参画し、地域デビューを果たした。残念ながら、あくてい部主催での初企画「ぐらぐらパニック」（@徳山動物園_スポーツチャレンジラリー）は荒天のため中止となったが、10/9_しゅうなんスポーツフェスタや、12/24, 1/27_PLAY FESで大活躍！しばふキャラバンにて、12/22_勝間地域へお届けした「ともだち、みっけ！」企画でも、多くの地域の方々へ楽しい時間をお届けした。

『山口県とスポーツをつなぐ！地域貢献を目指しながらスポーツの楽しさを伝える！』



統括リーダーの活躍（2年生_雨村 仁珠リーダー）

本プロジェクトの統括リーダーとして、企画立案・運営だけでなく、広報にも注力。プロジェクト名刺のアイデアを実現し、LIFE IS SPORTS活動の市民の方々に発信するとともに、プロジェクトを通して「学生一人ひとりが100人の地域の方々と名刺交換＆つながる！」ことをプロジェクトチーム全体で目指した。企画はユニバーサル＆インクルーシブの企画を目指し、「しばふ de だれでもバレーボール！」「ボッチャ」「PLAYエリア」企画を担当した。

『LIFE IS SPORTS@しばふの総リーダー！』

すべてのLIFE IS SPORTS企画／広報／地域連携に取り組みました！



④-2 成果と課題

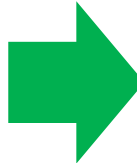
評価：KPIの観点から①

イベント来場者およびスポーツ活動の場：本事業期間（2023年8月～2024年1月）の地域イベントにおいて、計12,500名以上の方々をターゲットに、多彩なスポーツ体験の機会を提供する。また、体験したスポーツを継続できる場所として周南近隣に3か所以上の「地域に開かれたスポーツコミュニティ」を創る。



●不特定多数の市民の方々（対象が限定されない_延べ約21,270名）へ、多彩な学生企画を届けることができた（プロジェクトへの参画学生数_延べ約280名）。

●「モルック」「ハンドボール」「スケートボード」「バレーボール」「YOSAKOI」「あくてい部」の6チームが地域の方々に開かれた活動&地域コミュニティの創出を目指す学生団体として事業終了後も地域活動を継続。



【次なるチャレンジ】

「イベント全体に対する各コンテンツごとの来客数」「来場者特性」「リピート率」「新規の来客」等をKPIに設定&分析。さらに魅力的な企画への成長を目指す&地域活動の継続を目指す。学生の活動を支援し、活動内容を地域へ広く発信するとともに、地域コミュニティとしての成長を目指す。

評価：KPIの観点から②

学生有志団体：本事業の中心となる有志学生チームを、「スポーツを起点とする地域共創事業を目指す」大学公認の団体として位置づけ、次年度以降の活動支援体制を整備する。

- 
- 全スライドの6チームは、大学体育会の承認を経て、サークルとして地域活動を継続中。
 - 学内外のスポーツ振興を目指して学内設置された「スポーツ振興会議（2023年8月に設置）」にて、学生の地域活動に必要な経費を確保するための予算請求を大学へ提出。
 - 本年度_学生企画の主軸となった2年生が次年度のリーダー（次年度_2年生：現在26名がプロジェクト参画を希望。新1年生：新年度開始後に有志者を募集）育成する体制を準備中。



【次なるチャレンジ】
プロジェクトへの参画を希望する学生、企画コンテンツを大学の財産として育む持続的教育プログラム&教育システムを構築する。

評価：KPIの観点から③

本事業において連携した産学官5以上の団体・組織とコンソーシアムを構築し、本事業を次年度以降も継続する。

- 
- ・本事業での地域活動を通して、産学官の多様なステークホルダーを獲得することができた（2024/1/31現在_約40団体, 組織, 個人）。
 - ・産学官の連携体制により、次年度＝本事業での取り組み＋新規の地域活動を実施。
 - ・各ステークホルダーの強みと資源を活かし、スクラムを組んで周南地域のスポーツ振興を目指す活動を展開する。

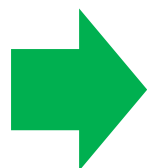


【KPI ①, ②, ③の結果に基づき：次なるチャレンジ】
本事業が「しゅうなん・コミュニティ・クラブ（案）」および「しゅうなん地域クラブ」の受け皿、運営、サポートを担える存在になれるよう、プロジェクトの成長を目指す。そして、地域のスポーツ・文化のコミュニティのさらなる活性化&創出を目指す。

KPI 以外観点からの検証/評価

1/27_最終の地域企画を終え、学内外のミーティングを開催（2月予定）。
『LIFE IS SPORTS@しばふプロジェクト』における2023年度の取り組みと2024年度の活動を市民の方々に広く知っていただく機会/企画を計画中。

『オールしゅうなん！
しばふ de かいぎ』



2023年度の終了とともに、
2024年に**つなぐ**「しくみ」と「しかけ」づくり





To be continued.

